

20

ナルニア国物語 2

ライオンと魔女と衣装だんす

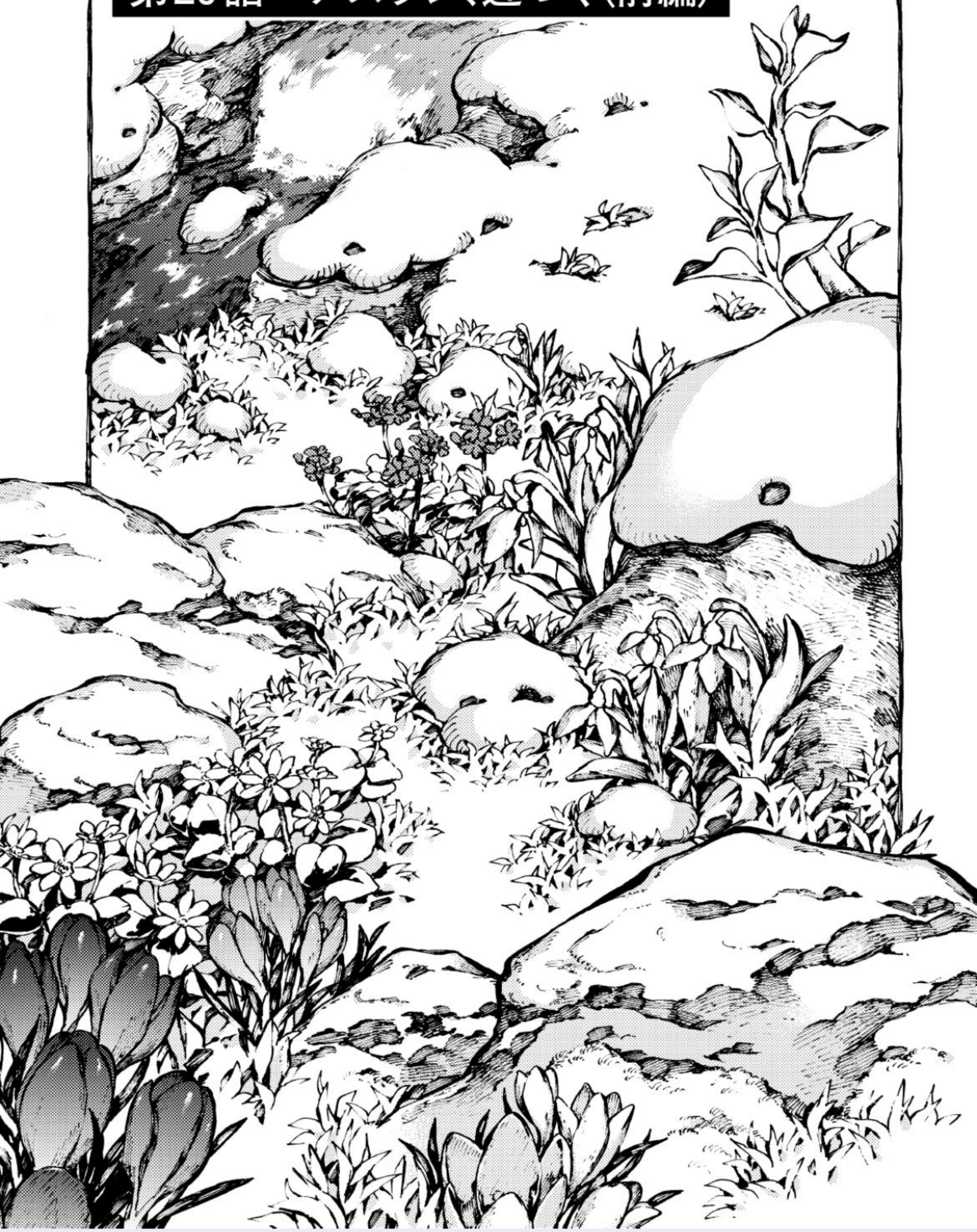
C・S・ルイス

土屋京子・訳

玉樹庵・画

(光文社古典新訳文庫刊)

第20話 アスラン、近づく(前編)





そりを
用意せよ

よいか

ハーネスは
鈴のついて
いないものを
使うのだぞ





女王陛下

お願いします

ガッ



ターキッシュ・
デライトを
いただけませんか？

この前



陛下が
おっしゃった
ように――

黙れ

馬鹿者！



この人間めに
食べ物と飲み物を
くれてやれ





王子様に
ターキツシュ・
デライトを
お持ちしました



ひひひひひ！



下げてくれ！



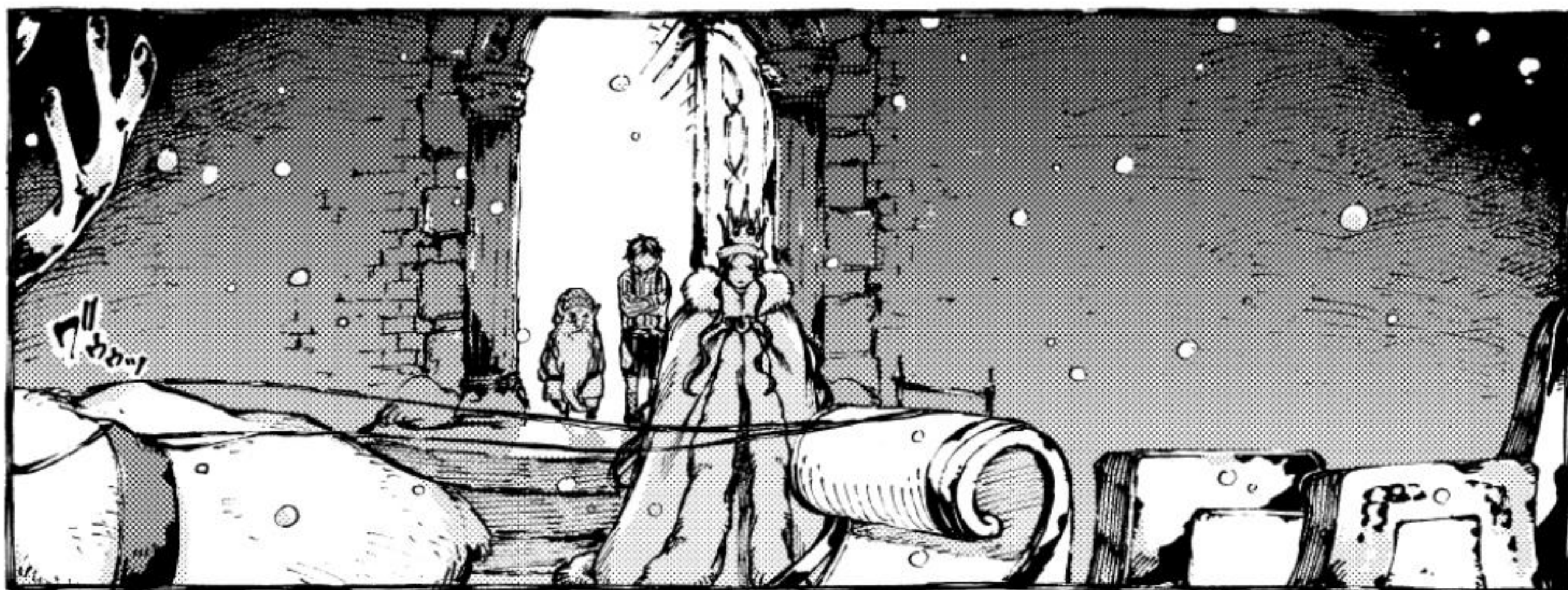
ひからびた
パンなんか

食べたくない











手下のうちで
いちばん足の速い
オオカミを連れて



すでに
もぬけの殻
だったら

全速力で
〈石舞台〉へ
向かえ



ただし

姿を
見られるで
ないぞ

そこで隠れて

わらわの
到着を待て



わらわは
ここから何キロも
西へさかのぼって

そりで
川を渡れる場所を
探さねばならぬが



おまえたちなら
人間どもが
〈石舞台〉に着く前に
追いつけるかも
しれぬ









雪のせいで
奴らの臭跡も足跡も
消えてしまった

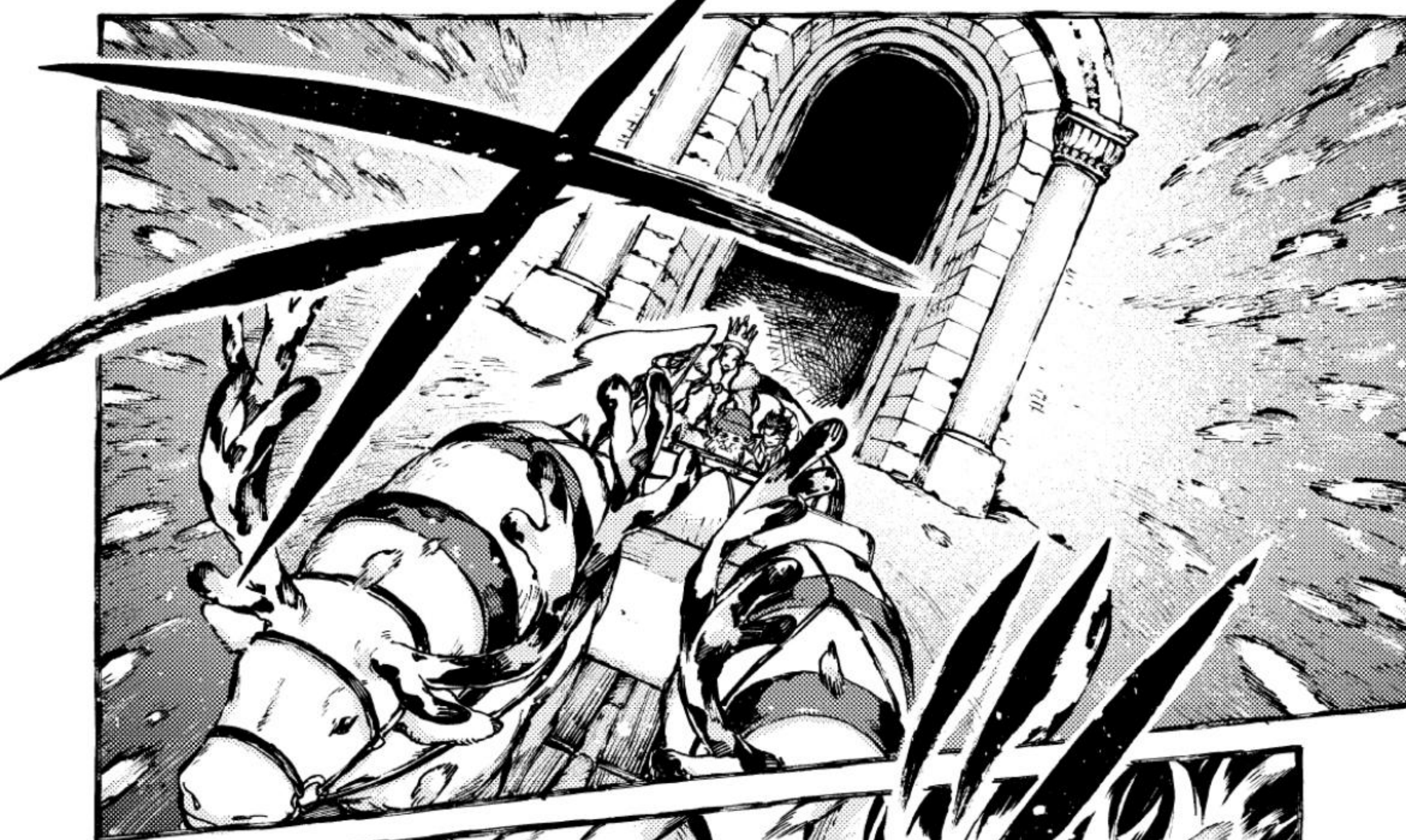


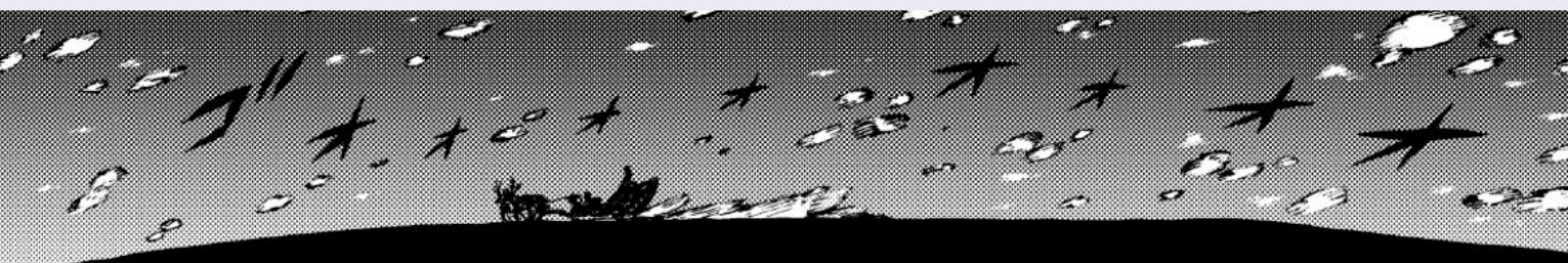
——と
なれば……



…既に
もぬけの殻だ







なんて
みじめな
気分なんだ！



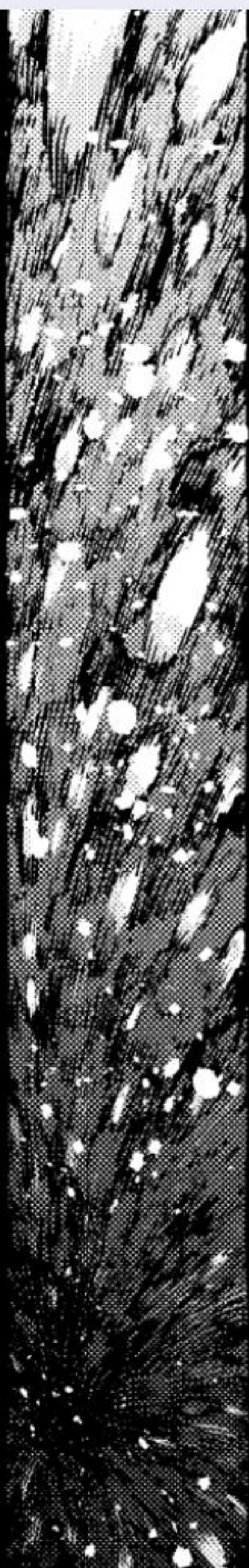
いまと
なつては

きょうだいに
会えるなら――

……あのピーター
でさる――

……どんな犠牲を
はらつてもいい……!









……何時間
走ったのだろう





これはすべて
悪夢で……



そのうち
きっと

目が
さめるんだ……

何もかもが
夢なんだ……

